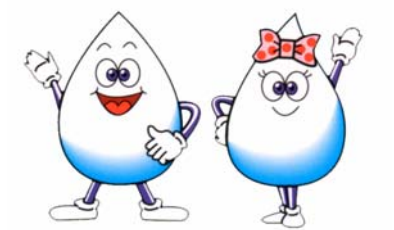


# 平成 22 年度 決算の概要



平成 23 年 12 月  
阪神水道企業団

# 目 次

**I. 概況**

**II. 業務の実績**

**III. 収支の状況**

**IV. 財政計画・予算・決算比較**

**V. 対前年度決算比較**

## I. 概況

### ◆総括

- 平成 22 年度は、昭和 53 年度より実施してきた第 5 期拡張事業が完了し、拡張から維持・更新の時代へと大きな節目を迎える中で、水道用水供給事業者としての責務を果たしていくため、安全な水の安定供給を基本理念に、経年化施設の更新、老朽管路の耐震化などを実施しました。
- 前年度末で累積欠損金が 140 億円を超える厳しい財政状況が続く中で、財源確保のために経費削減などの経営改善に努めましたが、今年度からの新たな取り組みとして、将来の支払利息の一層の負担軽減を図るため、平成 22～24 年度までの 3 年間で公的資金補償金免除繰上償還を実施することとしました。
- 昭和 43 年度から事業資金の貸付を行ってきた滋賀県造林公社については、国産木材価格の低下等により計画どおりの伐採収益が見込めず貸付金の回収が困難な状況となっていました。関係団体との協議の結果、貸付金の一部を放棄し、残額の一括弁済を受けることに合意し、これに伴い特別損失及び資本的収入を計上しました。

### ◆水源・水質、業務実績

- 琵琶湖の平均水位は -14cm（最高値 27cm、最低値 -40 cm）で、水質面でもかび臭物質はほとんど検出されておらず、下流（淀川）への影響もありませんでした。
- 年間実績給水量は、272,450,920 m<sup>3</sup>で、実績率は 94.5%となりました。
- 1 日最大給水量は、873,760 m<sup>3</sup>、最大稼働率は 77.5%（8 月 3 日）、1 日平均給水量は 746,442 m<sup>3</sup>となりました。

### ◆収支の状況

- 収益的収支は 975,378 千円の赤字となり、赤字額は前年度に比べて 407,041 千円増加しました。収入は補助金、特別利益の減などにより前年度に比べて 141,250 千円減少し、支出は特別損失の増により 265,791 千円増加しました。この結果、当年度末の累積欠損金は 15,073,077 千円に増加しました。
- 資本的収支は 8,107,803 千円の不足となり、不足額は前年度に比べて 368,482 千円減少しました。収入は出資金、補助金の減などにより 222,046 千円減少し、支出は水道改良費、水道拡張費の減などにより 590,528 千円減少しました。
- 資金残額は 3,802,300 千円となり、前年度に比べて 166,107 千円増加しました。

## Ⅱ. 業務の実績

### ◆計画給水量と実績給水量

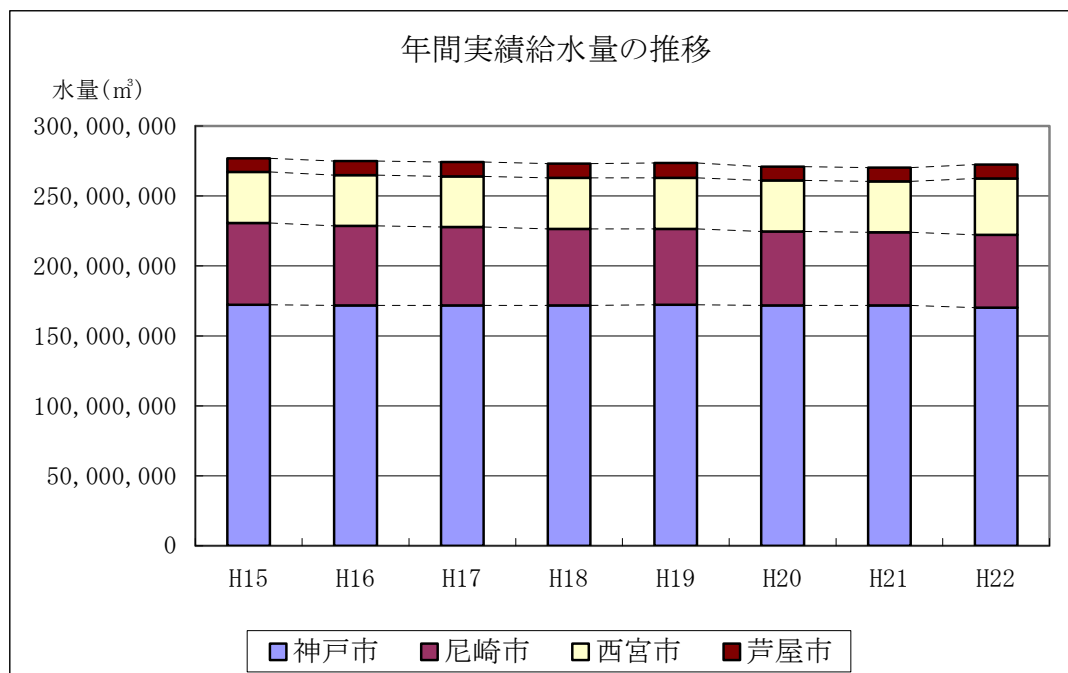
- 計画給水量（分賦基本水量）288,204,730 m<sup>3</sup>に対する実績給水量は272,450,920 m<sup>3</sup>で、実績率は94.5%となりました。

### ○ 年間実績給水量の推移（H15～）

（単位 m<sup>3</sup>）

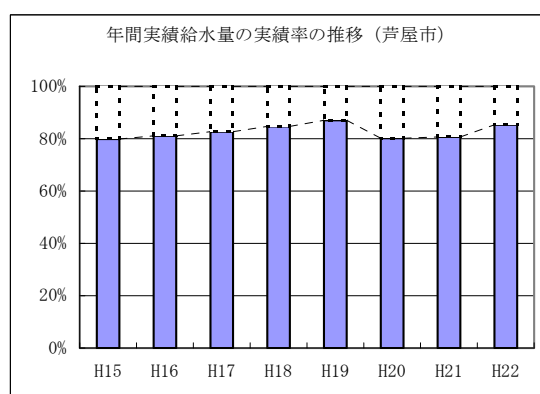
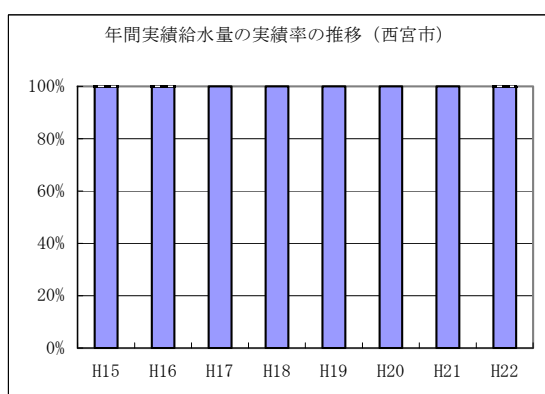
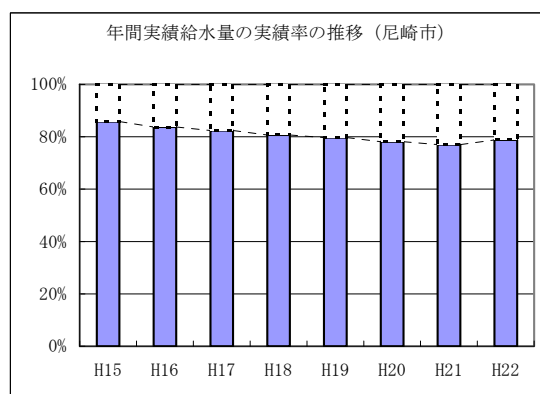
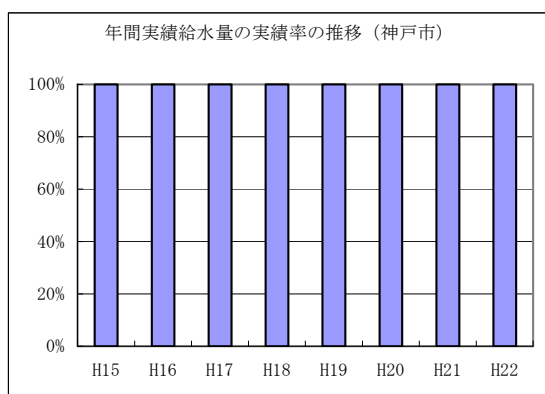
	神戸市	尼崎市	西宮市	芦屋市	計	
分賦基本水量	170,260,455	65,979,590	40,187,960	11,776,725	288,204,730	
年間実績給水量	H15	172,264,040	58,334,800	36,420,170	9,800,720	276,819,730
	H16	171,793,390	56,781,500	36,330,550	9,926,230	274,831,670
	H17	171,793,410	55,915,700	36,346,930	10,122,670	274,178,710
	H18	171,793,360	54,701,800	36,343,700	10,367,000	273,205,860
	H19	172,264,080	54,228,000	36,446,300	10,674,180	273,612,560
	H20	171,793,390	52,965,000	36,348,110	9,811,450	270,917,950
	H21	171,793,380	52,252,600	36,353,170	9,878,820	270,277,970
	H22	170,260,370	52,020,800	40,128,050	10,041,700	272,450,920

※H22は配分水量を調整（神戸市△1,533,000m<sup>3</sup>、尼崎市△1,839,600m<sup>3</sup>、西宮市+3,832,500m<sup>3</sup>、芦屋市△459,900m<sup>3</sup>）



○ 年間実績給水量の実績率（対計画給水量）の推移（H15～）

	神戸市	尼崎市	西宮市	芦屋市	全体
H15	100.0%	85.8%	99.9%	79.9%	95.8%
H16	100.0%	83.7%	99.9%	81.1%	95.4%
H17	100.0%	82.4%	100.0%	82.7%	95.1%
H18	100.0%	80.7%	100.0%	84.7%	94.8%
H19	100.0%	79.7%	100.0%	87.0%	94.7%
H20	100.0%	78.1%	100.0%	80.2%	94.0%
H21	100.0%	77.0%	100.0%	80.7%	93.8%
H22	100.0%	78.8%	99.9%	85.3%	94.5%



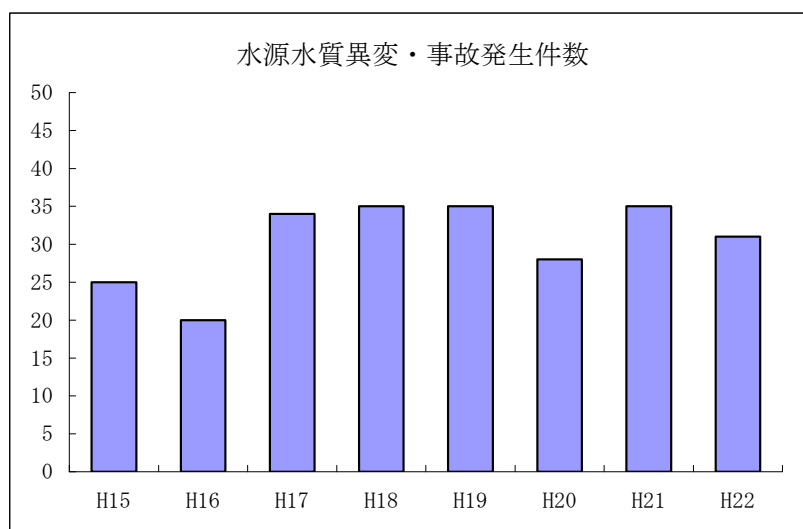
◆水源水質の状況（異変・事故の発生状況等）

- 淀川水質協議会で把握した淀川水系の水源水質異変・事故は 31 件で、その約 75%が油の流下によるものでした。企業団において対応を要した油流下事故は 0 件でした。

○淀川水系における水源水質異変・事故の発生頻度（H15～）

水源・水質事故発生件数

年度	発生件数
H15	25
H16	20
H17	34
H18	35
H19	35
H20	28
H21	35
H22	31



### Ⅲ. 収支の状況

#### ◆収益的収入の状況

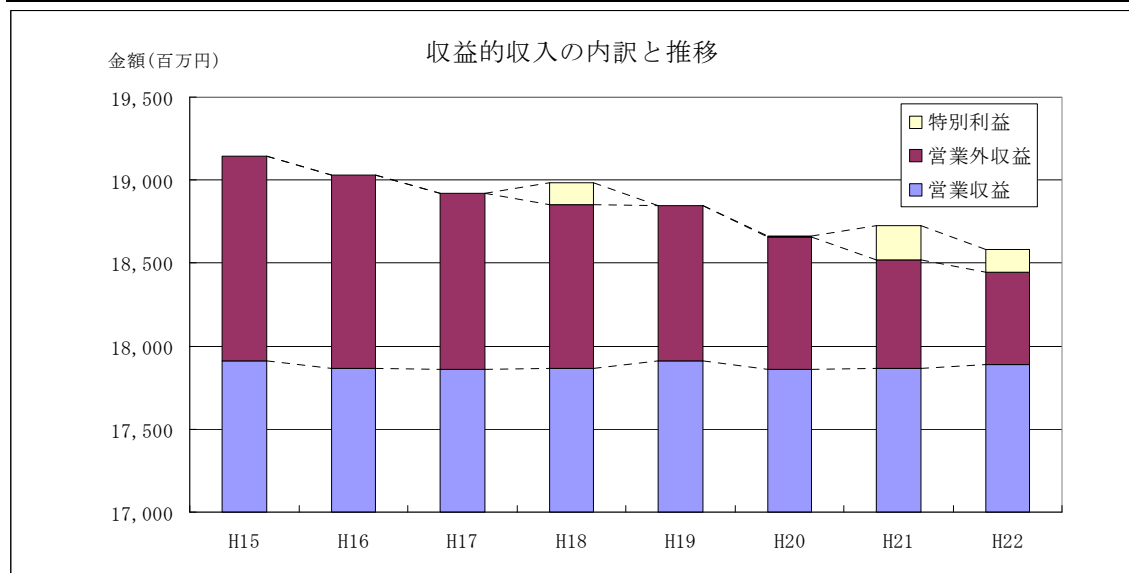
- 収益的収入は18,582,025千円で、前年度に比べて141,250千円減少しました。
- 補助金は前年度に比べて93,987千円減少しました。これは構成市一般会計からの補助金の対象となる企業債利息及び割賦負担金利息が減少したことによるものです。
- 特別利益は前年度に比べて67,611千円減少しました。これは前年度にあった土地売却益が今年度はなかったことなどによるものです。

[税抜：財政計画比+162,876千円、予算比+135,427千円]

#### ○収益的収入の内訳と推移(H15～) (税抜)

(単位 千円)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
1. 水道事業収益	19,146,186	19,030,512	18,921,959	18,984,450	18,848,450	18,664,076	18,723,275	18,582,025
1. 営業収益	17,912,169	17,863,533	17,861,909	17,865,975	17,909,107	17,861,819	17,864,552	17,888,203
1. 分賦金	17,906,089	17,857,165	17,857,165	17,857,165	17,906,089	17,857,165	17,857,165	17,857,165
2. 受託工事収益	0	0	0	2,857	0	1,635	4,520	27,323
3. その他の営業収益	6,080	6,368	4,744	5,953	3,018	3,019	2,867	3,715
2. 営業外収益	1,232,158	1,166,128	1,060,050	987,679	939,343	794,041	656,070	558,780
1. 受取利息	3,800	2,786	3,513	19,577	53,918	37,611	9,949	4,429
2. 補助金	1,105,013	1,034,229	942,542	843,593	759,751	604,628	489,809	395,822
3. 雑収益	123,345	129,113	113,995	124,509	125,674	151,802	156,312	158,529
3. 特別利益	1,859	851	0	130,796	0	8,216	202,653	135,042



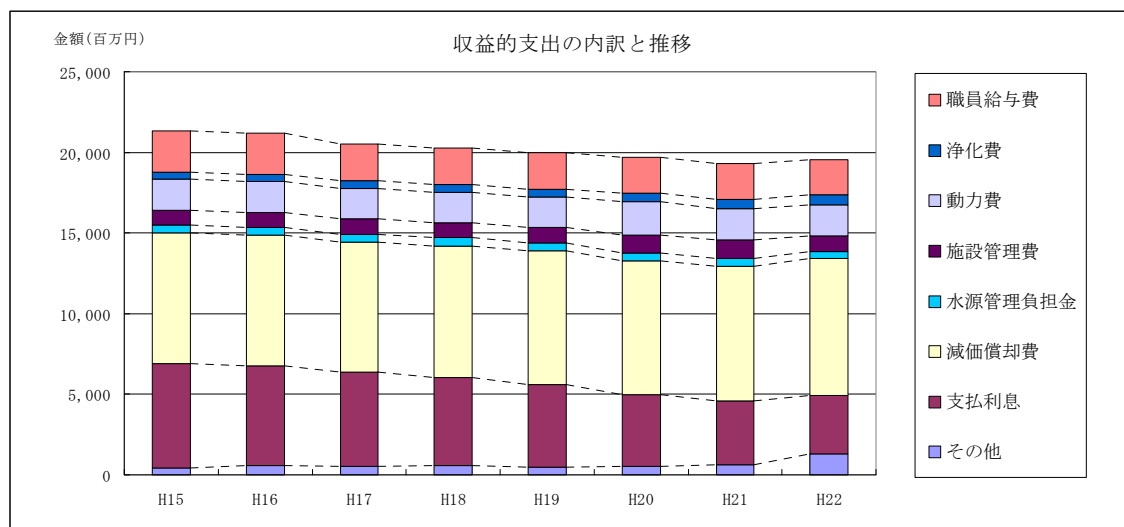
### ◆収益的支出の状況

- 収益的支出は19,557,403千円で、前年度に比べて265,791千円増加しました。
- 企業債利息、割賦負担金利息は前年度に比べて合わせて351,700千円減少しました。これは償還によりそれぞれの残高が減少したことによるものです。
- 特別損失は前年度に比べて606,991千円増加しました。これは滋賀県造林公社貸付金の債権放棄に伴う特別損失を計上したことなどによるものです。  
[税抜：財政計画比△110,562千円、予算比△351,689千円]

### ○収益的支出の内訳と推移 (H15～) (税抜)

(単位 千円)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
1. 水道事業費用	21,325,666	21,195,072	20,519,604	20,260,058	19,984,020	19,669,941	19,291,612	19,557,403
1. 営業費用	14,833,003	14,969,763	14,645,378	14,786,036	14,877,516	15,240,134	15,323,984	15,332,756
1. 職員給与費	2,548,338	2,560,589	2,282,124	2,281,625	2,286,073	2,210,372	2,200,643	2,205,398
2. 浄化費	414,011	425,837	498,246	475,791	450,036	533,131	589,920	597,727
3. 動力費	1,950,620	1,947,854	1,879,124	1,858,971	1,916,042	2,045,669	1,934,356	1,924,372
4. 施設管理費	939,268	934,756	933,910	944,392	946,667	1,129,926	1,149,204	981,303
5. 委託費	119,837	208,281	159,063	134,661	176,505	212,314	211,931	289,293
6. 受託工事費	0	0	0	2,857	0	1,635	4,520	27,323
7. 物件費	93,833	90,640	83,760	86,266	88,793	87,276	87,760	87,341
8. 諸費	195,212	193,962	194,699	195,359	186,725	187,491	175,210	208,286
9. 水源管理負担金	487,389	475,417	486,512	495,236	491,096	495,092	476,735	412,512
10. 減価償却費	8,063,384	8,071,038	8,055,900	8,168,331	8,303,102	8,289,313	8,344,558	8,496,105
11. 資産減耗費	21,111	61,389	72,040	142,547	32,477	47,915	149,147	103,096
2. 営業外費用	6,492,663	6,224,539	5,874,226	5,474,022	5,104,994	4,429,807	3,967,628	3,617,656
1. 企業債利息	4,506,784	4,354,918	4,140,421	3,896,253	3,673,556	3,196,642	2,970,405	2,844,527
2. 割賦負担金利息	1,981,437	1,868,478	1,733,193	1,574,294	1,430,909	1,230,098	995,953	770,131
3. 雑支出	4,442	1,143	612	3,475	529	3,067	1,270	2,998
3. 特別損失	0	770	0	0	1,510	0	0	606,991





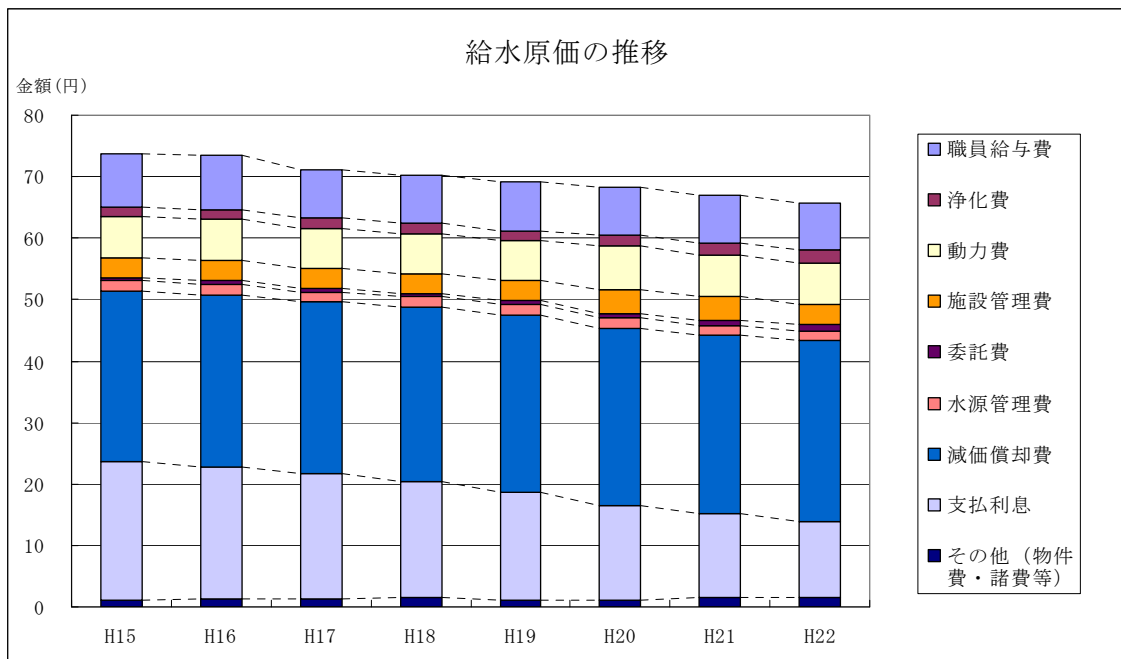
◆給水原価の状況

- 給水原価は65.66円で、前年度に比べて1.26円減少しました。そのうち支払利息は前年度に比べて1.22円減少しました。
- 企業債及び割賦負担金の繰上償還などの効果により、支払利息は平成15年度に比べて56%の水準まで低下しました。

○給水原価の構成と推移 (H15～)

(単位 円)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
職員給与費	8.82	8.89	7.92	7.92	7.91	7.67	7.64	7.65
浄化費	1.43	1.48	1.73	1.65	1.56	1.85	2.05	2.07
動力費	6.75	6.76	6.52	6.45	6.63	7.10	6.71	6.68
施設管理費	3.25	3.24	3.24	3.28	3.28	3.92	3.99	3.40
委託費	0.41	0.72	0.55	0.47	0.61	0.74	0.74	1.00
水源管理費	1.69	1.65	1.69	1.72	1.70	1.72	1.65	1.43
減価償却費	27.9	28.01	27.95	28.34	28.73	28.76	28.95	29.48
支払利息	22.45	21.59	20.38	18.98	17.66	15.36	13.76	12.54
その他(物件費・諸費等)	1.09	1.20	1.22	1.48	1.06	1.12	1.43	1.41
給水原価	73.79	73.54	71.20	70.29	69.14	68.24	66.92	65.66



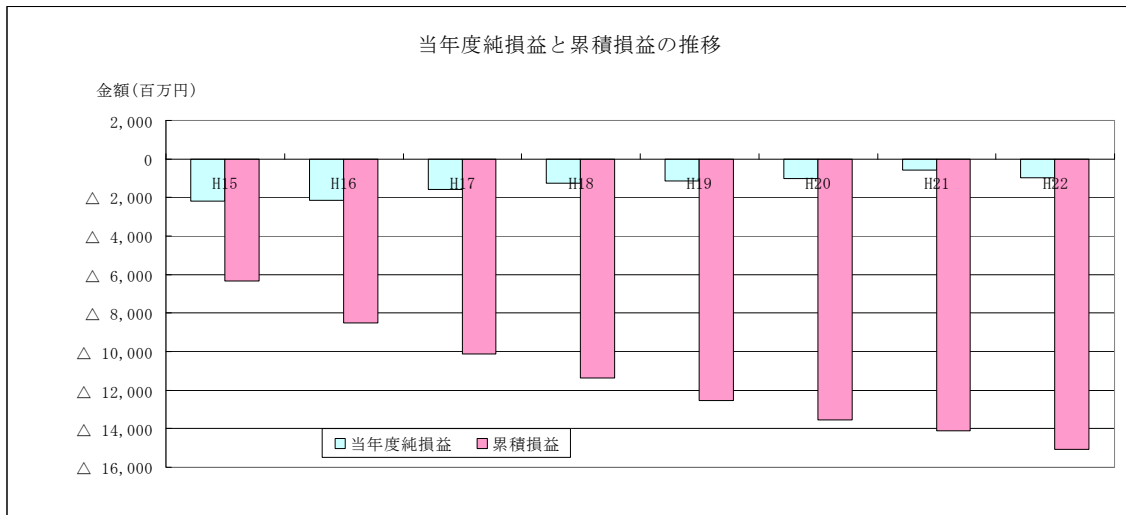
◆純損益と累積損益の状況

- 当年度の純損失は975,378千円で、前年度に比べて407,041千円増加しました。
- 分賦割合（料金単価）を平成13年4月の改定以来据え置いています。第5期拡張事業で整備した施設の稼働に伴い減価償却費、支払利息が増加し、毎年度純損失を計上しています。
- 当年度末の累積欠損金は15,073,077千円に達しました。  
[財政計画比+777,577千円、予算比+487,116千円]

○当年度純損益と累積損益の推移（H15～）

（単位 千円）

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
当年度純損益	△ 2,179,480	△ 2,164,560	△ 1,597,645	△ 1,275,608	△ 1,135,570	△ 1,005,865	△ 568,337	△ 975,378
累 積 損 益	△ 6,350,113	△ 8,514,673	△ 10,112,318	△ 11,387,927	△ 12,523,497	△ 13,529,362	△ 14,097,699	△ 15,073,077



## ◆資本的収支・資金収支の状況

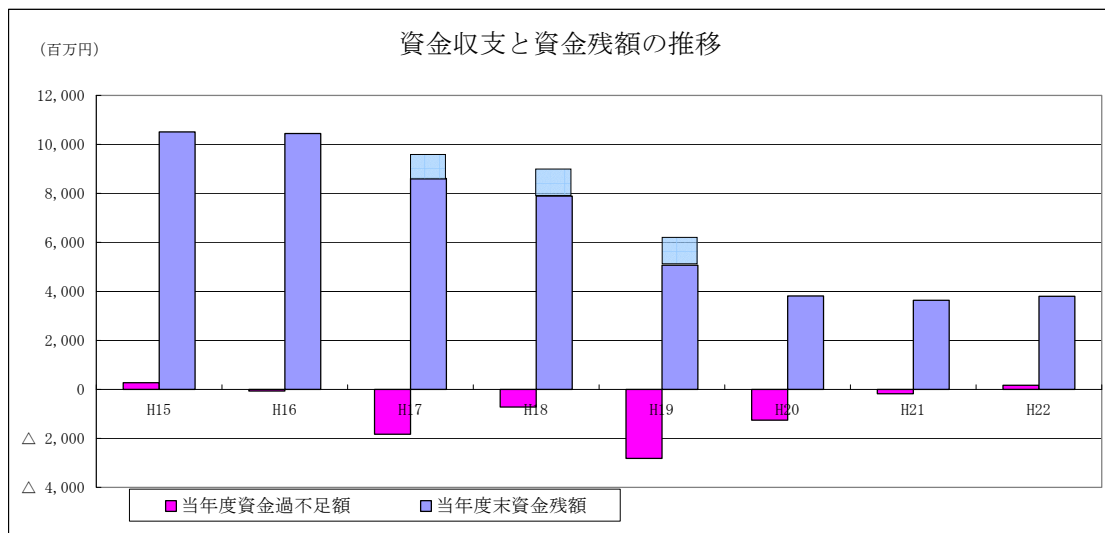
- 資本的収入は7,513,316千円で、前年度に比べて222,046千円減少しました。企業債は公的資金補償金免除繰上償還の財源として借換債を発行したことにより増加しましたが、起債・国庫補助事業の縮小により、その財源である出資金、国庫補助金はそれぞれ減少しました。
- 資本的支出は15,621,119千円で、前年度に比べて590,528千円減少しました。企業債償還金は公的資金補償金免除繰上償還により増加しましたが、第5期拡張工事費などが減少しました。
- 資本的収支は8,107,803千円の不足となりましたが、損益勘定留保資金等で補填した結果、当年度の資金収支は166,107千円の黒字となりました。
- 当年度末の資金残額は3,802,300千円で、前年度に比べて166,107千円増加しました。  
[財政計画比+657,349千円、予算比+462,083千円]

## ○資金収支と資金残額の推移 (H15～)

(単位 千円)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
前年度末資金残額	10,234,021	10,507,523	10,442,589	8,608,680	7,889,308	5,071,281	3,812,279	3,636,193
当年度資金過不足額	273,502	△ 64,934	△ 1,833,909	△ 719,372	△ 2,818,027	△ 1,259,002	△ 176,086	166,107
当年度末資金残額	10,507,523	10,442,589	8,608,680	7,889,308	5,071,281	3,812,279	3,636,193	3,802,300

※ 当年度末資金残額には、長期運用資金額(999,700千円)を含まず。(平成17年度～19年度)



(注) 浅藍色は、長期運用資金額を示す。

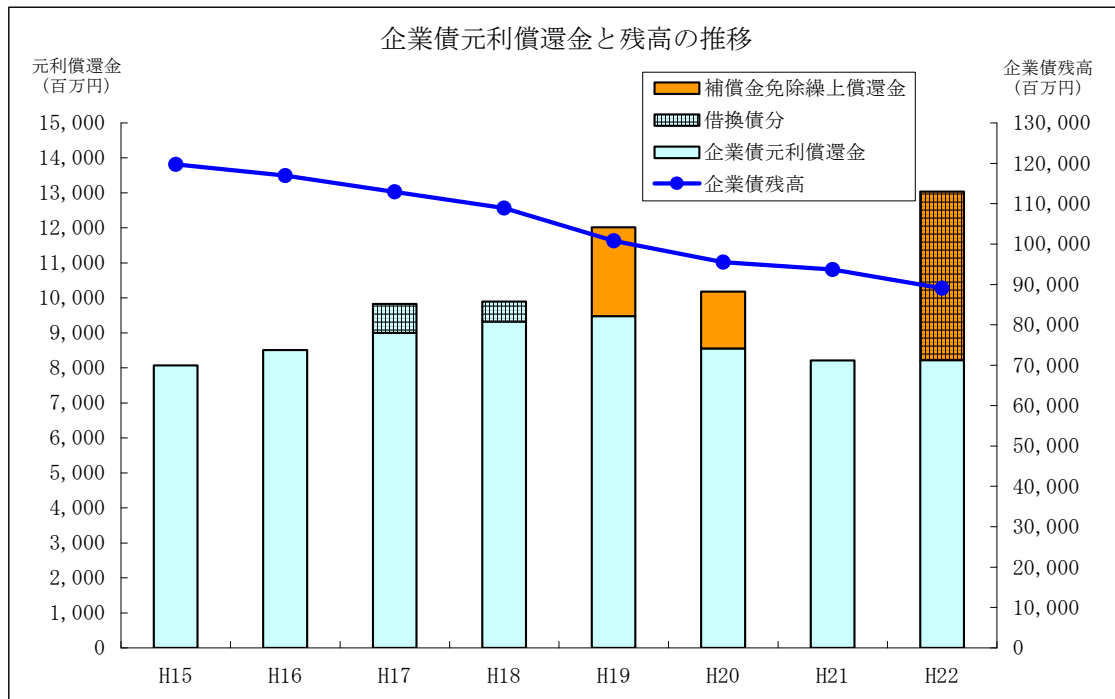
### ◆企業債の状況（償還額・残高の推移）

- 企業債元利償還金は13,034,445千円で、公的資金補償金免除繰上償還により前年度に比べて4,822,225千円増加し、平成15年度以降では最大規模となりました。
- 厳しい資金状況、近年の低金利などを考慮し、繰上償還の財源として借換債4,804,000千円を発行しました。
- 当年度末の企業債残高は89,045,393千円で、前年度に比べて4,662,918千円減少し、平成15年度の74%の水準まで低下しました。

### ○企業債元利償還額・残高の推移（H15～）

（単位 百万円）

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
企業債元利償還金	8,069	8,511	9,826	9,895	12,019	10,177	8,212	13,034
年度末残高	119,705	116,939	112,934	108,888	100,812	95,529	93,708	89,045



（注）元利償還金には、借換債分（H17：824百万円、H18：572百万円）及び公的資金補償金免除繰上償還（H19：2,545百万円、H20：1,622百万円、H22：4,812百万円※）を含む。

※H22分は財源として借換債4,804百万円を発行した。

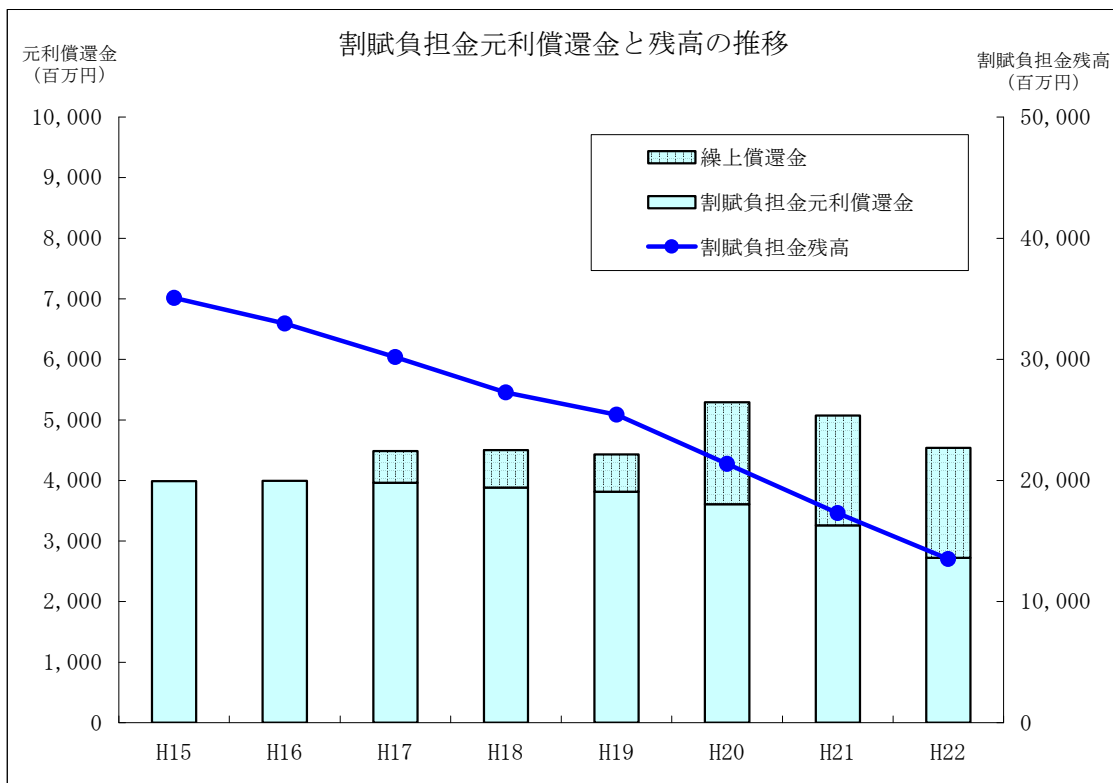
◆割賦負担金の状況（償還額・残高の推移）

- 割賦負担元利償還金は4,536,390千円で、前年度に比べて535,212千円減少しました。
- 当年度は琵琶湖開発事業割賦負担金1,684,050千円を繰上償還しました。
- 年度末残高は13,526,393千円で、前年度に比べて3,766,259千円減少し、平成15年度の39%の水準まで低下しました。

○割賦負担元利償還額・残高の推移（H15～）

（単位 百万円）

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
割賦負担元利償還金	3,991	3,994	4,487	4,501	4,429	5,291	5,072	4,536
琵琶湖開発事業	3,337	3,340	3,832	3,845	3,750	4,611	4,391	3,854
日吉ダム建設事業	654	654	655	656	679	680	681	682
年度末残高	35,078	32,952	30,198	27,272	25,429	21,368	17,292	13,526
琵琶湖開発事業	26,912	25,128	22,730	20,174	17,560	13,901	10,242	6,911
日吉ダム建設事業	8,166	7,824	7,468	7,098	7,869	7,467	7,050	6,615



（注）元利償還金には、琵琶湖開発事業割賦負担金繰上償還金を含む。

（H17：525百万円、H18：618百万円、H19：618百万円、H20：1,684百万円、H21：1,813百万円、H22：1,684百万円）

## IV. 財政計画・予算・決算比較

収益的収入及び支出（税抜き）

（単位 千円）

収支区分	年度	H22				
		財政計画 ①	予算額 (前年繰越+補正・ 流用) ②	決算額 ③	決算-財計 ③-①	決算-予算 ③-②
1. 水道事業収益		18,419,149	18,446,598	18,582,025	162,876	135,427
1. 営業収益		17,860,183	17,889,481	17,888,203	28,020	△ 1,278
1. 分賦金		17,857,164	17,857,163	17,857,165	1	2
2. 受託工事収益		0	29,273	27,323	27,323	△ 1,950
3. その他の営業収益		3,019	3,045	3,715	696	670
2. 営業外収益		558,965	557,116	558,780	△ 185	1,664
1. 受取利息		15,025	7,466	4,429	△ 10,596	△ 3,037
2. 補助金		398,074	395,822	395,822	△ 2,252	0
3. 雑収益		145,866	153,828	158,529	12,663	4,701
3. 特別利益		1	1	135,042	135,041	135,041
1. 水道事業費用		19,667,965	19,909,092	19,557,403	△ 110,562	△ 351,689
1. 営業費用		15,889,774	15,742,934	15,332,756	△ 557,018	△ 410,178
1. 職員給与費		2,259,103	2,234,067	2,205,398	△ 53,705	△ 28,669
2. 浄化費		526,919	661,573	597,727	70,808	△ 63,846
3. 動力費		2,068,753	2,003,967	1,924,372	△ 144,381	△ 79,595
4. 施設管理費		1,117,005	974,442	981,303	△ 135,702	6,861
5. 委託費		247,316	294,070	289,293	41,977	△ 4,777
6. 受託工事費		0	29,273	27,323	27,323	△ 1,950
7. 物件費		98,286	94,817	87,341	△ 10,945	△ 7,476
8. 諸費		204,903	214,338	208,286	3,383	△ 6,052
9. 水源管理負担金		509,534	474,975	412,512	△ 97,022	△ 62,463
10. 減価償却費		8,826,135	8,722,614	8,496,105	△ 330,030	△ 226,509
11. 資産減耗費		31,820	38,798	103,096	71,276	64,298
2. 営業外費用		3,773,188	3,652,892	3,617,656	△ 155,532	△ 35,236
1. 企業債利息		2,990,520	2,879,655	2,844,527	△ 145,993	△ 35,128
2. 割賦負担金利息		776,890	770,132	770,131	△ 6,759	△ 1
3. 借入金利息		0	1	0	0	△ 1
4. 雑支出		5,778	3,104	2,998	△ 2,780	△ 106
3. 特別損失		3	508,266	606,991	606,988	98,725
4. 予備費		5,000	5,000	0	△ 5,000	△ 5,000
当年度純利益又は 当年度純損失(△)		△ 1,248,816	△ 1,462,494	△ 975,378	273,438	487,116

前年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 14,601,838	△ 14,097,699	△ 14,097,699	504,139	0
当年度純利益 又は純損失(△)	△ 1,248,816	△ 1,462,494	△ 975,378	273,438	487,116
当年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 15,850,654	△ 15,560,193	△ 15,073,077	777,577	487,116

## 資本的收入及び支出（税込み）

（単位 千円）

年度 収支区分	H22				
	財政計画 ①	予算額 (前年繰越+補正) ②	決算額 ③	決算-財計 ③-①	決算-予算 ③-②
1. 資本的収入	3,214,284	8,291,301	7,513,316	4,299,032	△ 777,985
1. 企業債	1,653,000	6,088,000	5,527,000	3,874,000	△ 561,000
2. 出資金	1,557,581	1,660,611	1,660,611	103,030	0
3. 国庫補助金	0	288,336	211,638	211,638	△ 76,698
4. 固定資産売却代金	1	1	0	△ 1	△ 1
5. 工事負担金	0	140,152	0	0	△ 140,152
6. 基金収入	3,700	3,989	3,857	157	△ 132
7. 長期貸付金返還金	1	110,211	110,210	110,209	△ 1
8. その他資本収入	1	1	0	△ 1	△ 1
1. 資本的支出	11,529,860	16,582,705	15,621,119	4,091,259	△ 961,586
1. 水道改良費（起債・負担金）	1,739,177	1,515,856	764,152	△ 975,025	△ 751,704
水道改良費（自己資金）	622,037	646,384	475,857	△ 146,180	△ 170,527
2. 水道拡張費	0	460,293	421,076	421,076	△ 39,217
3. 水利負担金	3,787,230	3,766,261	3,766,259	△ 20,971	△ 2
4. 投資	3,700	3,989	3,857	157	△ 132
5. 企業債償還金	5,377,716	10,189,922	10,189,918	4,812,202	△ 4
6. 国庫補助金返還金	0	0	0	0	0
資本的収支不足額(△)	△ 8,315,576	△ 8,291,404	△ 8,107,803	207,773	183,601
補てん財源	8,315,576	8,291,404	8,107,803	△ 207,773	△ 183,601
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	223,801	188,994	190,872	△ 32,929	1,878
損益勘定留保資金等	8,091,775	8,102,410	7,916,931	△ 174,844	△ 185,479
前年度末資金残額	3,627,584	3,636,193	3,636,193	8,609	0
当年度資金過不足額(△)	△ 482,633	△ 295,976	166,107	648,740	462,083
当年度末資金残額	3,144,951	3,340,217	3,802,300	657,349	462,083

## V. 対前年度決算比較

収益的収入及び支出（税抜き） (単位 千円)

収支区分	年度	H22		
		前年度決算額	決算額	当年度－前年度
		①	②	①－②
1. 水道事業収益		18,723,275	18,582,025	△ 141,250
1. 営業収益		17,864,552	17,888,203	23,651
1. 分賦金		17,857,165	17,857,165	0
2. 受託工事収益		4,520	27,323	22,803
3. その他の営業収益		2,867	3,715	848
2. 営業外収益		656,070	558,780	△ 97,290
1. 受取利息		9,949	4,429	△ 5,520
2. 補助金		489,809	395,822	△ 93,987
3. 雑収益		156,312	158,529	2,217
3. 特別利益		202,653	135,042	△ 67,611
1. 水道事業費用		19,291,612	19,557,403	265,791
1. 営業費用		15,323,984	15,332,756	8,772
1. 職員給与費		2,200,643	2,205,398	4,755
2. 浄化費		589,920	597,727	7,807
3. 動力費		1,934,356	1,924,372	△ 9,984
4. 施設管理費		1,149,204	981,303	△ 167,901
5. 委託費		211,931	289,293	77,362
6. 受託工事費		4,520	27,323	22,803
7. 物件費		87,760	87,341	△ 419
8. 諸費		175,210	208,286	33,076
9. 水源管理負担金		476,735	412,512	△ 64,223
10. 減価償却費		8,344,558	8,496,105	151,547
11. 資産減耗費		149,147	103,096	△ 46,051
2. 営業外費用		3,967,628	3,617,656	△ 349,972
1. 企業債利息		2,970,405	2,844,527	△ 125,878
2. 割賦負担金利息		995,953	770,131	△ 225,822
3. 借入金利息		0	0	0
4. 雑支出		1,270	2,998	1,728
3. 特別損失		0	606,991	606,991
4. 予備費		0	0	0
当年度純利益又は 当年度純損失(△)		△ 568,337	△ 975,378	△ 407,041

前年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 13,529,362	△ 14,097,699	△ 568,337
当年度純利益 又は純損失(△)	△ 568,337	△ 975,378	△ 407,041
当年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 14,097,699	△ 15,073,077	△ 975,378



## 資本的収入及び支出（税込み）

（単位 千円）

収支区分	年度	H22		
		前年度決算額	決算額	当年度－前年度
		①	②	①－②
1. 資本的収入		7,735,362	7,513,316	△ 222,046
1. 企業債		3,421,000	5,527,000	2,106,000
2. 出資金		2,833,040	1,660,611	△ 1,172,429
3. 国庫補助金		1,476,502	211,638	△ 1,264,864
4. 固定資産売却代金		1,155	0	△ 1,155
5. 工事負担金		0	0	0
6. 基金収入		3,665	3,857	192
7. 長期貸付金返還金		0	110,210	110,210
8. その他資本収入		0	0	0
1. 資本的支出		16,211,647	15,621,119	△ 590,528
1. 水道改良費（起債・負担金）		2,330,280	764,152	△ 1,566,128
水道改良費（自己資金）		621,401	475,857	△ 145,544
2. 水道拡張費		3,936,399	421,076	△ 3,515,323
3. 水利負担金		4,075,649	3,766,259	△ 309,390
4. 投資		3,665	3,857	192
5. 企業債償還金		5,241,815	10,189,918	4,948,103
6. 国庫補助金返還金		2,438	0	△ 2,438
資本的収支不足額（△）		△ 8,476,285	△ 8,107,803	368,482
補てん財源		8,476,285	8,107,803	△ 368,482
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額		379,265	190,872	△ 188,393
損益勘定留保資金等		8,097,020	7,916,931	△ 180,089
前年度末資金残額		3,812,279	3,636,193	△ 176,086
当年度資金過不足額（△）		△ 176,086	166,107	342,193
当年度末資金残額		3,636,193	3,802,300	166,107